NIPPON ANTENNA

取扱説明書

屋外用VHF・UHF混合器
直付型

MODEL
M-737B

●この度は、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保存してください。

■特 長

1．本器は、FM・VHFとUHF信号を混合するときに使用する混合器です。

2．FM・VHF入力端子は75Ω専用、UHF入力端子は75・300(200)Ω兼用となっております。

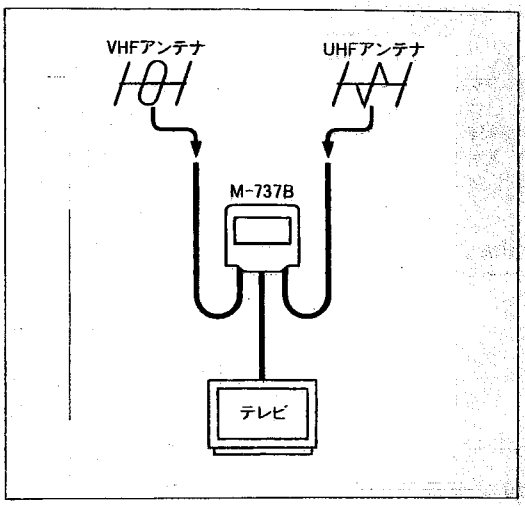
■取扱上の注意

●ケーブル接続部分で芯線と編組線が短絡しないように注意してください。
もし短絡しますと、テレビに画像がでないばかりでなく故障の原因になります。

●高所での機器取付作業には、足場と機器の落下等に十分ご配慮ください。

●本器の分解等は故障の原因になりますので、絶対にしないでください。

■接続例



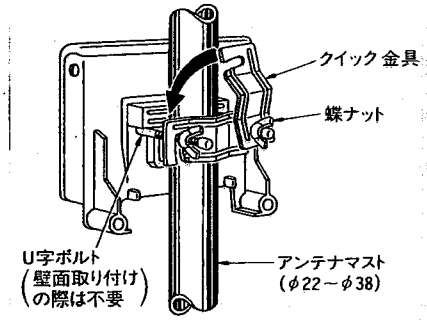
■標準性能表

項　　目	性　　能	
受信帯域(ch)	FM・VHF	UHF
	76～222	470～770
通過帯域損失(dB)	1.0	1.5〔2.5〕
阻止帯域減衰量(dB)	20	
電圧定在波比	2.0	2.2〔2.5〕
入力インピーダンス(Ω)	75	75・300(200)
出力インピーダンス(Ω)	75	
外形寸法(mm)	高さ90　幅97　奥行84	

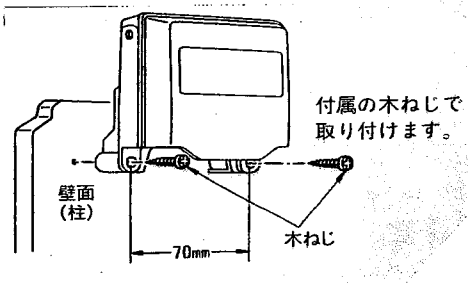
注意：〔 〕内の数値は300(200)Ωで使用の場合

●マスト取付方法

クイック金具を持ち上げマストに挿入し、再び金具をセットして蝶ナットでしっかり締めつけます。



●柱・壁取付方法



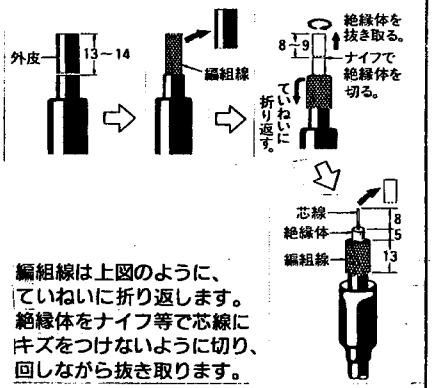
日本アンテナ株式会社

■ケーブル(フィーダ)の加工と取付方法

●防水キャップの加工方法

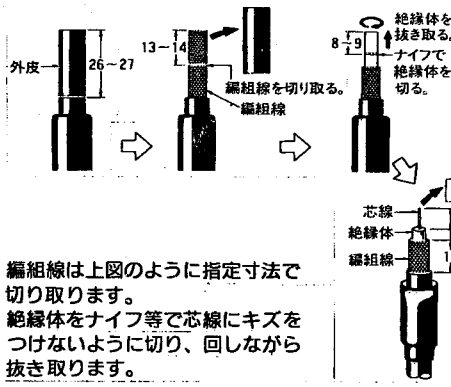
同軸ケーブル(フィーダ)の太さに合わせて切断します。必ずケーブルを防水キャップに通してからケーブルを加工してください。

同軸ケーブル 3C-2V・TVEFCX



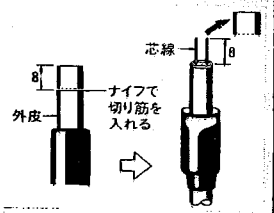
編組線は上図のように、ていねいに折り返します。絶縁体をナイフ等で芯線にキズをつけないように切り、回しながら抜き取ります。

同軸ケーブル 5C-(2V,FV,FB)・S5C-FB



編組線は上図のように指定寸法で切り取ります。絶縁体をナイフ等で芯線にキズをつけないように切り、回しながら抜き取ります。

フィーダ線

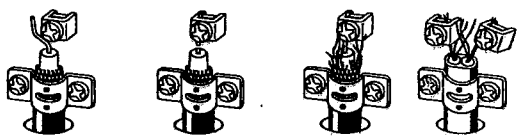


フィーダの先端から8mmに切り筋をごく軽く入れ、ニッパーで中心を切り裂いて外皮を引き抜き、芯線を露出してください。芯線はより合せて上図のように加工してください。

(単位：mm)

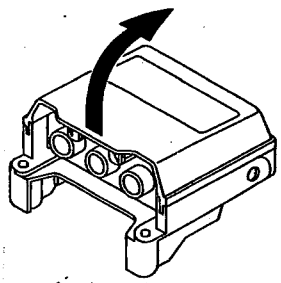
注意 ケーブル加工は芯線や編組線をキズつけないように注意してください。
また、このとき芯線が指に突き刺さらないように注意してください。

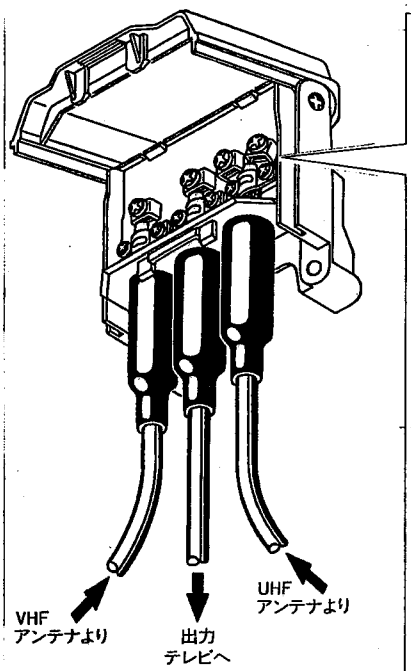
注意 接続は正しく行ってください。



●ケースの開け方

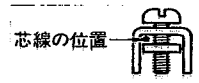
カバーを上側へ持ち上げると開きます。カバーは本体と直角程度まで開きますとストッパで固定されます。



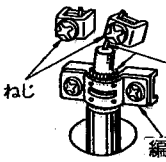


●UHF入力端子へのケーブル取付方法

ねじをゆるめ、芯線を図のようにはさんで締めつけます。



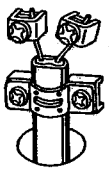
●同軸ケーブル75Ω使用の場合



注意 編組線と芯線が接触しないように！

編組線を金具で押え固定します。

●フィーダ300(200)Ω使用の場合



ケーブルを取り付けたら、カバーを締めて完了です。

初版 平成8年1月印刷 D832004802

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

■支店
東 京☎(03)3893-5371
大 阪☎(06) 928-3461
■営業所
札 幌☎(011)865-8522
盛 岡☎(0196)25-3128
仙 台☎(022)235-6443
宇都宮☎(0286)63-4191
水 戸☎(029)253-6901
長 野☎(026)244-3135
大 宮☎(048)651-7361
千 葉☎(043)265-6401
神 田☎(03)5295-0051
多 摩☎(0422)37-5110
横 浜☎(045)324-3241
平 塚☎(0463)22-3218
静 岡☎(054)238-1200
浜 松☎(053)462-8521
名古屋☎(052)411-5395
岡 山☎(086)241-9808
広 島☎(082)292-2747
高 松☎(0878)65-0945
福 岡☎(092)552-0331
北九州☎(093)611-5258
鹿児島☎(0992)53-7706
■出張所
釧 路☎(0154)24-7410
郡 山☎(0249)21-6011
高 崎☎(0273)61-1041
塩 尻☎(0263)53-5221
熊 本☎(096)358-6211

●製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。